

第2回楽器別交歓会に参加して

鍵盤楽器 牛久SE 横田恵美子



私は今回が初めての参加でしたので、練習室に入ってセッティングして、練習開始までどんな演奏になるのかワクワクでした、がいよいよスタートです。「シルクロード」「アメリカンパトロール」「オーシャンゼリゼ」を斎藤良先生の指揮でとてもスムーズに演奏できました。事前に楽譜が配布されたので、皆よく練習してきたようです。先生が一人ひとりに丁寧に対応して下さり、そのアドバイスで、音色のバランスや速さなどが変わり、すてきなサウンド、ハーモニーが作られてゆくことを体験しました。あっという間に時間が過ぎ、もう少し練習をしたい気持ちでしたが、グループ発表。

各々の楽器の特徴が生かされたすばらしい演奏でした。私達も練習成果が出せて良かったと思います。お陰様で大変有意義な体験ができ、斎藤先生やお世話になった方々に感謝しています。

楽器別交歓会 弦楽器部門の感想

葛飾・江東 福山道子

私は今回、2回目の参加です。五十嵐先生のご指導のもとに20余名弦楽器奏者が一同に集まり練習が始まりました。いつもと違った穏やかな雰囲気の中で、各パートに諸注意を頂くうちに、先生の熱意が各奏者に伝わり、各パートごとに意見交換がはじむうちに発表の時間を迎えました。パッフェルベルのカノン、ハンガリアンダンス5番、案山子と演奏が進み、指導者と奏者が一体になり、すばらしい弦の波響が舞台、客席にかけ巡り感動しました。この熱い経験、今でもあの日のひびき渡る弦のうねりを身体に感じ、合奏できる喜びが私の人生の心の糧、支えになっております。最後に、この会を主催された全シ連の実行委員の皆様や、指導された五十嵐先生に厚く御礼申し上げます。



第2回楽器別交歓会に参加して

船橋SE 穴倉和夫



私は今回が2回目の参加です。最初に指揮者の鍋木先生が、「『川の流れるように』この曲が一番難しいんだよ。」と仰っていました。楽譜を見ると比較的演奏し易い曲に思えるのですが。すると先生が「この曲は日本人なら誰でも知っているからこそ難しい。観客の知らない曲はある意味で間違っても分かりにくい。速い曲はそんなに難しくない。」と仰っていました。でも、私にとって速い曲はやはり苦手です。

私の楽団は金管楽器がないので、迫力のあるサウンドと一緒に演奏できたことは感慨深いものがありました。『アフリカンシンフォニー』のとき先生が、「観客は音楽を聞きに

来るのではない、見に来るのです。リズム楽器がこんなにあるのだから他の楽器はもっとリズムに合わせて動かないと面白い。」と仰いました。音楽にのると自然に身体は動くものですが、それ以上に意識的にリズムを楽しむことができました。

ここでこのように演奏会ができるのは、10年近く前に岡村さんが楽団を立ち上げてくれたお陰です、このように幸せな時を過ごすことができ、改めて感謝の気持ちで一杯です。